JAKEHS 東地区定例会

日時：2015 年 3 月 15 日（日）１０：００～１３：００
場所：横浜市神奈川地区センター（JR 東神奈川）
参加者：
　田附和久さん（神田女学園高校、YMCA 東京日本語学校）
　倉島礼子（都立町田総合高校など）
　山下誠（鶴見総合高校）
　李智子さん（横浜総合高校）
　梁仁順さん（東京韓国教育院）
　金愛蓮さん（横浜旭陵高校、光明相模原高校）
　崔明淑さん（横浜商工高校、在日韓国 YMCA）
　呉文淑さん（慶明学園高校など）
　黒澤眞爾さん（関東国際高等学校）
　南貞順さん（東京韓国教育院院長）
　権奇元さん（神奈川韓国教育院院長）
　閔 炳勖さん（駐日韓国大使館 韓国文化院）
　中野敦さん（公益財団法人国際文化フォーラム）
概要：
１）自己紹介と近況
・参加者の学校の近況が報告されました
・東京韓国教育院より、文化体験事業等の講師派遣ほか協力の申し出がありました
・国際文化フォーラムより、日韓のことばを学ぶ中高生交流プログラム 2015-SEOUL で댄스댄스댄스の募集案内がありました。

２）今年度授業を振り返って
事例発表１「神田女学園高校での韓国語授業紹介」田附和久
・「語学の神田」を標榜し、キャリア教育としての外国語教育を特徴にしている。
・2015 年度の 1 年生から、必修の英語のほかに、英語会話、中国語、韓国語が選択必修となった。
・通常授業以外の取り組みを通じて、生徒の興味関心を高め、学外のコンテスト等で生徒が優秀な成績を収める。
・今後の課題は、指導の成果を外部に説明するための資料を用意すること
　※認定試験、コンテスト等の入賞、授業で作った創作物、ルーブリックを提出する
・学校の実情に即した教材の準備（既存の教科書ではなく作る必要がある）
事例発表２「平成 26 年度授業報告」倉島礼子
・桜修館中等教育学校は、2015 年度授業が開講されないことになる予定
・授業の取り組み方を、2013 年は「読めて書ける」を目標にしたが、2014 年は書くより話すを重視した
　授業（文法中心→会話中心）に取り組んだ。
・2015 年度は、「読めて話せる」を目標に授業に臨みたい。

・今後の課題として、2014 年度に動機付けに効果のあった、文化体験講座（韓服体験など)」を東京韓国教育院等の力を借りて続けて実施するとともに、教室の中だけでなく教室の外にも見えるようにするなど、広く生徒の動機付けに貢献し、全体の受講者数を増やすことで継続して講座が開設できるようにする工夫が必要

事例発表３「鶴見総合高校　韓国朝鮮語講座現況」山下誠

・受講者数は昨年の 2/3 程度に減少している。
・授業は場面シラバスでプロジェクト学習を行っている。
・ひとかたまりのフレーズで覚えた韓国語を、あとから文法や単語に分析したり、]
発音の仕組みを説明したりする「フォーカスオンフォーム」を実践。

・2014 年度は、助詞（이/가,은/눈,을/를,에 부터/까지) に加え、連音化の仕組みの導入にチャレンジし、好結果を得た。

３）話してみよう韓国語東京中高生大会

・話してみよう韓国語の大会は、近年出場者のレベルが高くなり参加校が限定され、多くの学校の学習者にとって縁遠いものとなってしまった
・広く韓国語学習の動機付けに資する大会とするための検討が必要となっている。
・大阪で開催されている「楽しもう韓国語大会」が、そのような背景のもと開催されているイベントなのか聞き取り調査し、より多くの高校で韓国語を学ぶ生徒が参加できるイベントを検討してはどうか。今後の課題としましょう。